

COPD(慢性閉塞性肺疾患)についてお話しします！

COPDってどんな病気？

COPDとは、肺気腫や慢性気管支炎も合わせた「慢性閉塞性肺疾患」という総称のことで肺の生活習慣病ともいわれています。

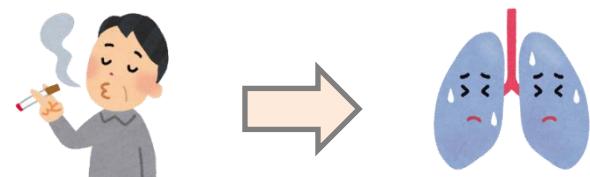
タバコの煙などの有害な物質を長い間吸い続けることにより、肺が少しずつ破壊されます。呼吸機能が低下し、空気が吸えない、吸った空気が吐き出せない状態になります。



COPDの主な原因是「タバコ」

COPD患者の90%が喫煙者と言われています。

一般的には、若い年齢で喫煙を開始した人、喫煙年数（20年以上）が長い人、1日に吸うタバコの本数（1日20本以上）が多いほどCOPDになるリスクが高いとされています。また、非喫煙者でも他人が吸ったタバコの煙を吸うことでもCOPDを発症する可能性があります。



まずはタバコをやめてCOPDの進行を止めましょう！



COPD の症状とは？

初めは咳や痰が見られる程度ですが、肺機能の低下とともに動くと息切れするため、知らない間に階段を使わなくなったり、坂道を避けるようになります。COPD が進行すると安静にしている時でも息切れするようになり、日常生活を送るためににはいつも酸素吸入器が必要になることもあります。



COPD は治療を継続することが大切です！

COPD がどんな病気か、どんな症状か、どんな治療があるか、生活上の注意点などを理解し前向きに病気に向き合っていくことが大切です。

動き続けられる毎日のために、自己判断で治療を中断することがないよう継続していきましょう。